

国公労連2012年要求アンケート

みんなの声で要求を組織しよう

本アンケートは、国公労働者の要求と意識を一体的に把握し、2012年春闘期に向けた要求確立や今後の運動に活用することを目的に実施するものであり、アンケート結果は「2012年春闘統一要求案」検討のための重要な参考資料とされるだけでなく、全員参加による職場討議と要求確立の出発点となるものです。

組合員の皆さんの積極的なご協力をお願いします。

1 変化に対応した要求を職場から組織しよう

政府は、公務員の総人件費2割削減の公約とも関わって、「賃下げ法案」を国会に提出し、秋の臨時国会での成立を目指しています。また、公務員に協約締結権を回復することを含む公務員制度改革関連4法案の審議も臨時国会に先送りされています。そうした中、9月に2011年人事院勧告が提出され、「賃下げ法案」の取り扱いがどのようになるのか注目されています。

「地域主権改革」では国の出先機関の原則廃止が打ちたされ、ブロック単位での移譲について、広域実施体制と人員移管などの枠組みを決定するとともに、移譲対象事務・権限の範囲の整理、移管対象出先機関決定の中間取りまとめが行われるなど動きが加速しています。

一方、職場では、東日本大震災への対応など業務量の増大するなか、度重なる定員削減や新規採用の抑制により定員状況が厳しくなり、メンタル疾患にかかる人も年々増えています。

このように秋闇段階から春闘にかけて、これらの課題が複雑に絡み合いながら大きく動き出そうとしています。

2 官民共同の運動で要求の前進を勝ち取ろう

要求の前進には、国民の理解と共同が不可欠ですが、なによります私たち一人ひとりの切実な要求に基づく主体的なとりくみが必要です。その出発点として、すべての組合員が、要求を出し合い話し合いながら要求を作りましょう。

その上で、自らの要求と労働者・国民の要求を結合させ、民間労働者はもとより地域の住民と共同した取り組みを積み上げていくことが重要です。そうしたとりくみを通じて公務員の総人件費削減攻撃を跳ね返し、国民生活の基盤を支える公務サービスの維持・充実を一体として求めていくことが大切です。

3 要求アンケートのとりくみにあたって認識を深めましょう

アンケートの記入にあたっては、公務員労働者をめぐる状況や要求の到達点などについて、認識を深める職場討議を実施してとりくみましょう。

【記入にあたっての留意事項】

- ① 記入方法は、各問の該当する回答番号に○をつけ、その番号をアンケート回答票の「回答欄」に記入してください。
- ② 「自由意見欄」は、組合に対する要望や期待など自由にお書きください。
- ③ アンケート記入に取り組む時期、集約時期、集約方法などについては、単組からの指示にしたがってください。

【国公労連集約日】 基本集約日 11月10日(木)、最終集約日12月8日(木)

【基本項目】

F1 性別 ①男 ②女

F2 年齢

- ① 19歳以下 ② 20~24歳 ③ 25~29歳 ④ 30~34歳
- ⑤ 35~39歳 ⑥ 40~44歳 ⑦ 45~49歳 ⑧ 50~54歳
- ⑨ 55~59歳 ⑩ 60歳以上

F3 勤務官署

- ① 本府省 ② 管区機関 ③ 府県単位機関 ④ 地方出先機関
- ⑤ 施設等機関 ⑥ 独立行政法人 ⑦ 国立大学法人

F4 世帯の収入構造

- ① 1人(独身) ② 1人(扶養者あり) ③ 共働き(一方がパート)
- ④ 共働き(双方ともフルタイム) ⑤ 3人以上の収入 ⑥ その他

回答票

基本項目

F1	
----	--

F2	
----	--

F3	
----	--

F4	
----	--

切りとり線

設問項目

Q1		
----	--	--

Q2	A	
	B	

Q3	
----	--

Q2 最近のあなたの働きぶりについて、次のような不安を感じますか。

A. 今の働き方が続けると、身体がもたないかもしれない	①強く感じる	②やや感じる	③あまり感じない	④まったく感じない
B. 今の働き方が続けると心の病になるかもしれない	①強く感じる	②やや感じる	③あまり感じない	④まったく感じない

Q3 直近の1か月で、実際にどのくらい時間外労働(休日労働も含む)をしましたか。

- ① 残業時間なし ② 10時間未満 ③ 10時間~20時間未満
- ④ 20時間~30時間未満 ⑤ 30時間~40時間未満 ⑥ 40時間~50時間未満
- ⑦ 50時間~60時間未満 ⑧ 60時間~80時間未満 ⑨ 80時間~100時間未満
- ⑩ 100時間以上

(4)

Q4 あなたは、ご自分の今の労働時間（残業を含む総実労働時間）についてどう思いますか。

- ① 非常に長いと思う ② やや長いと思う ③ 適当だと思う ④ やや短いと思う
⑤ 非常に短いと思う

Q5 あなたの生活実感は、次のうちどれに該当しますか。もっとも近いものを選んでください。

- ① かなり苦しい ② やや苦しい ③ まあまあだ ④ ややゆとりがある
⑤ かなりゆとりがある

Q6 あなたは2012年春闘で、月額いくらの賃上げを要求しますか

- ① 現状維持（これ以上の賃下げを許さない） ② 5千円未満 ③ 5千円
④ 1万円 ⑤ 2万円 ⑥ 3万円 ⑦ 4万円 ⑧ 5万円 ⑨ 6万円以上

Q7 協約締結権を回復する法案が国会に提出されていますが、その内容についてどう感じていますか。（独立行政法人等の方もお答えください。）

- ① 当然であり早く実現してほしい（すべき）
 - ② スト権回復も含めた抜本修正を行うべき
 - ③ 人事院勧告制度のまで良い
 - ④ わからない

Q8 政府が進めている「地域主権改革」について、あなたの考えに合うものを「2つ」選んでください。

- ① 国の行政責任放棄につながる
 - ② 国民・住民の受けける行政サービスが低下する
 - ③ 公務の人員整理が進む
 - ④ 地域間格差が拡大する
 - ⑤ 地域社会が活性化する
 - ⑥ 地域のことを地域で決められる
 - ⑦ 国と地方の二重行政を解消できる
 - ⑧ わからない

Q9 「地域主権改革」では、国の出先機関の原則廃止が打ち出されていますが、将来的の雇用についてどう感じていますか。(国の出先機関以外ではたらく方もお答えください。)

- ① 不安を強く感じている
 - ② 不安を少し感じている
 - ③ 地方に委譲しても雇用は確保されるので大丈夫だ
 - ④ 自分には関係がない
 - ⑤ わからない

Q10 あなたは原子力発電についてどのようにお考えですか。

- ① 目標を決め、できるだけ早くなくす
 - ② 徐々に減らし将来はなくす
 - ③ 原発の数及び発電量を維持する
 - ④ 新しく増設して発電量を増やす

Q11 政府に対する要求で、あなたがもっとも実現したいものを「5つ」選んでください。

- ① 景気対策、中小企業振興、投機マネー規制
 - ② 震災復興、被災者の生活再建、原発事故損害賠償の早期実施
 - ③ 派遣法改正と有期雇用規制、失業対策・雇用創出
 - ④ 長時間労働の根絶、安全衛生強化、メンタル対策
 - ⑤ 最賃大幅引き上げ・全国一律制確立、生活保護の改悪阻止
 - ⑥ 性・年齢・雇用形態による差別根絶、均等待遇実現
 - ⑦ 医療、介護・福祉、保育の制度改善
 - ⑧ 年金改善と最低保障年金制度の確立
 - ⑨ 消費税など庶民増税反対、大企業や富裕層への課税強化
 - ⑩ 安価な公共住宅の普及、住宅手当創設
 - ⑪ 公的教育の充実、教育費無償化の拡大、教育制度改悪阻止
 - ⑫ 防災対策・生活関連公共事業の充実、公契約法制定
 - ⑬ 公務員賃下げ阻止、公共サービス切捨て・国の責任の自治体への押しつけ反対
 - ⑭ 復興特区等の規制緩和阻止、TPP貿易自由化反対
 - ⑮ 食の安全、食料自給率向上、農林漁業振興
 - ⑯ 原発事故収束、原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換、環境対策強化
 - ⑰ 憲法改悪・衆院比例定数削減の阻止
 - ⑱ 米軍基地の国外移設、核兵器廃絶

Q4		
Q5		
Q6		
Q7		
Q8		
Q9		
Q10		
Q11		

自由意見欄 あなたのご意見などを書きください

自由意見欄 あなたのご意見などをお書きください